

2020 年度事業報告

2020 年度 実施事業の概況報告

I 総括

2020 年度においては新型コロナウイルスの大流行により、経済・社会生活そのものがかつてないほどの変貌を強いられ、大学スポーツも大きな影響を受けることになった一年でありました。このような環境の下で、本協会としては予定していた事業の実施時期や実施形態の変更を適宜行うとともに、コロナ禍においてもスポーツを存続させることを目的に、運動部学生や大学・競技団体に対する支援プログラムを新たに実行して参りました。結果として、年度当初に設定した会員数目標は未達成であったものの、パートナーとの共同事業の進展や学生・大学・競技団体支援プログラムを通じて、UNIVAS に対する認識や存在価値の浸透は図られてきた一年でありました。

II 新型コロナウイルスの影響と対応

(1) 事業活動への影響

1) 主催イベントの延期・縮小

- ▶ 三密の回避、不要不急な事柄自粛の要請を受け、当初予定していた各種事業においては、その事業の特性に応じて変更を行った。

開催見合わせ	・学長懇談会
開催時期変更	・UNIVAS CUP 各指定大会(制限付きもしくはは無観客開催)
開催手法変更 (オンライン化)	・UNIVAS 研修会・リーダーズキャンプ・GMG ミーティング ・UNIVAS AWARDS 表彰式(受賞者発表番組形式) ・ありもり会議

2) テレワークの推進

- ▶ 2度にわたる緊急事態宣言の発出を受けて、事務局業務においてもテレワークの推進による出勤者数の削減、通勤混雑解消に向けたフレックスタイム制を実施した。

4/7-5/25	・出勤者ゼロ・テレワーク体制	・4/7 緊急事態宣言発出
5/26-6/12	・週2出勤・テレワーク体制	
6/15-7/10	・週3出勤・テレワーク体制	
7/13-1/6	・週2出勤・テレワーク体制	
1/7-	・週1出勤・テレワーク体制	・1/7 緊急事態宣言発出

※緊急事態宣言の発出日は、東京都に対する日付けとしています。

(2) 会員における感染拡大防止活動のサポート

1) 運動部活動に対する指針の表明

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大下における運動部活動の在り方に関して、UNIVAS 会長より指針を表明した。

3/6	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けたご協力願ひについて(依頼)
4/6	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けたご協力願ひ(再度の依頼)
4/27	・新型コロナウイルス感染拡大防止徹底に向けたご協力依頼(第三報)

2) 官公庁通達の一元化と会員への発信

- ▶ 内閣官房からの全般にわたるコロナ対策やイベントに関するガイドライン、文部科学省からの大学に対する通達などに関しては、UNIVAS がハブとなって大学・競技団体会員に通達を伝達した。

各種通達の伝達	37 回
---------	------

3) 会員における感染拡大防止策対処実態調査と結果の共有

- ▶ 大学におけるコロナ対策の実施や競技団体における大会の実施に関しては各地域における感染状況を踏まえた地域別の対応が原則であったため、各会員の対応状況をホームページ等を通して取材集計し、各会員の対策判断に役立つように共有を図った。

[大学に関する調査項目] ・授業開始時期や手法・課外活動の実施可否・キャンパスの状態

[競技団体に関する調査項目] ・UNIVAS CUP 指定大会の開催可否と開催時期

第一回	・4/12 時点にて調査、4/14 公開
第二回	・4/20 時点にて調査、4/23 公開
第三回	・6/2 時点にて調査、6/4 公開
第四回	・7/1 時点にて調査、7/3 公開
第五回	・9/16 時点にて調査、9/23 公開

4) スポーツ活動再開ガイドラインの策定

- ▶ コロナウイルス流行の完全収束までは with コロナ環境での運動部活動が強いられるため、感染防止策を十分に施した上での活動に関する順守事項等のガイドラインを策定し、オフィシャルサイトに掲出することにより、UNIVAS 会員のみならず広く一般への発信を行った。

その後、政府の方針を踏まえて、更新を続けている。

6/18	・新型コロナウイルス感染症対策『UNIVAS 大学スポーツ活動再開ガイドライン』初版公開。
------	---

9/25	・内閣官房からの発出文書を反映し、第二版公開。
2/19	・政府からの新たな発出事項を踏まえた第三版を公開。

(3) 運動部学生と会員を支援する新たなプログラムの展開

1) 学生アスリートのモチベーションキープ

① 試合動画の共有サービス開始

- ▶ UNIVAS が保有する UNIVAS CUP 試合動画を会員大学・競技団体に貸与、会員の自サイトで展開することで会員のスポーツプロモーションをサポートする仕組みを4月より開始。

利用会員	9 競技団体 1 大学	日本学生サーフィン連盟 全日本学生テニス連盟 全日本学生馬術連盟 全日本大学バレーボール連盟 日本学生オリエンテーリング連盟 全日本学生アーチェリー連盟 日本学生ライフル射撃連盟 全日本学生柔道連盟 日本スポーツチャンバラ学生連盟 日本体育大学
------	----------------	---

② 「#スポーツを止めるな！2020」サイトの開設

- ▶ インターハイ中止に伴い活躍の場を失った高校生に対して自分のプレーをアピールする場の提供を始めとする競技単位の活動を支援すべく、9競技を中心に競技横断総合型での投稿紹介サイトを立ち上げ、高校生に限らず、大学生アスリートも含めて、社会への情報発信をサポートした。

投稿数	1,885 件
-----	---------

③ 特別夏期講座「夢をチカラに！」配信

- ▶ スポーツ活動の中止等制約を受けている学生アスリートに対して、一流アスリート等が困難を克服してきた自らの体験談を語るオンラインセミナーをライブ配信、My UNIVAS 登録者にはアーカイブ視聴も提供した。

【総視聴者数】 171,429 名

8/2 ・本田圭佑(プロサッカー選手)	8/10 ・井上康生(柔道家)
8/17 ・武井壮(百獣の王)	8/24 ・登坂絵莉(レスリング)
8/31 ・田中理恵(体操)	9/7 ・羽根田卓也(カヌー)
9/21 ・渡部暁斗(ノルディック複合)	10/17 ・古館伊知郎(フリーアナウンサー)

2) スポーツ活動再開に向けたサポート

①体温・体調管理システムの無償提供

▶運動部活動の再開に当たってはメンバーの日々の体調管理が重要であることから、株式会社ユーフォリアの協力のもと、部としてのメンバー体調管理をサポートする「ONE TAP SPORTS 体調管理システム」の希望運動部への無償提供を実施した。

無償提供期間	2020.04.27～2020.12.31
利用運動部数	135 大学 551 運動部
利用運動部員数	16,530 名

②UNIVAS CUP 指定大会の開催支援

i)スポーツセーフティネット制度

▶天候与件等不可抗力な事由により試合・大会が中止になった際の増加費用を補償する保険制度を新設、UNIVAS CUP 指定大会 23 大会を補償の対象として大会開催における競技団体のリスク軽減を図った。

対象 23 大会	全日本学生アーチェリー王座決定戦
	日本学生選手権水泳競技大会
	全日本学生カヌースプリント選手権大会
	全日本大学グレコローマン選手権
	全日本学生サーフィン選手権秋季大会
	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会
	日本学生オリエンテーリング選手権①
	日本 U23 トライアスロン選手権
	全日本大学選手権大会(ボート)
	全日本学生馬術大会
	全日本大学ソフトボール選手権大会 (男子)
	全日本大学ソフトボール選手権大会 (女子)
	全日本学生ホッケー選手権大会
	少林寺拳法全日本学生大会
	全日本学生スポーツ射撃選手権大会
	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 (男子)

	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（女子）
	全日本学生テニス選手権大会
	全日本バレーボール大学男女選手権
	全日本大学バスケットボール選手権大会
	全日本大学アメリカンフットボール選手権 アメリカンフットボール東西大学王座決定戦
	全日本大学スキー大会
	日本学生オリエンテーリング選手権②

ii)無観客試合に対する広報支援

- 当初日程からの延期により開催を果たした UNIVAS CUP 指定大会もほとんどが無観客開催を強いられた為、UNIVAS LIVE としてライブ配信を拡大して配信し、現地で応援できない学生や大学関係者への情報発信を行った。

※配信実績は9ページの動画配信実績に含む

iii)試合会場での感染拡大防止対策備品の供給

- 無観客開催であっても選手や大会関係者に対するコロナ感染防止対策は必要なため、検温システムやアルコール消毒液等の感染対策備品の貸し出しと供給を行った。

供給先大会	供給物	総額
全日本学生アーチェリー王座決定戦 全日本学生カヌースプリント選手権大会 全日本大学グレコローマン選手権 全日本学生サーフィン選手権秋季大会 全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会 日本学生オリエンテーリング選手権①② 全日本大学選手権大会(ボート) 全日本学生馬術大会 全日本大学ソフトボール選手権大会（男子/女子） 全日本学生ホッケー選手権大会 少林寺拳法全日本学生大会 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 （男子/女子） 全日本学生テニス選手権大会	サーモグラフィ 非接触型体温計 手指用アルコール消毒液 設備用アルコール消毒液 ハンドソープ フェイスガード ペーパータオル ビニール袋 ビニール手袋	7,131 千円

全日本バレーボール大学男女選手権 全日本大学バスケットボール選手権大会 全日本大学グレコローマン選手権		
---	--	--

iv) 競技団体横断型での補助金申請

➤上記 ii) 及び iii) の具現化においては、該当する競技団体を UNIVAS が取り纏め、スポーツ庁が進める「スポーツイベント再開支援事業」の補助金一括申請を行った。

期間	申請対象団体	補助金額
第一次募集	全日本学生アーチェリー連盟, 全日本学生カヌー連盟, 日本フライングディスク協会, 日本学生サーフィン連盟, 日本学生ライフル射撃連盟, 日本オリエンテーリング協会 日本馬術連盟 日本学生ホッケー連盟 少林寺拳法連盟 日本ウエイトリフティング協会 全日本学生空手道連盟 全日本学生テニス連盟 全日本大学バスケットボール連盟 全日本スキー連盟 日本学生航空連盟	28,097 千円
第二次募集	全日本学生レスリング連盟 日本ボート協会 全日本大学ソフトボール連盟 日本スポーツチャンバラ学生連盟 全日本スキー連盟	12,700 千円
合計		40,797 千円

III 実施事業の概要

1. 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

(1) UNIVAS 研修会の開催

➤コロナ禍の影響を鑑み、開催時期の後ろ倒し、開催手法をオンライン方式に変更して、管理者セミナー、指導者セミナーを開催した。

	月日	参加者	
		大学・競技団体数	人数
管理者セミナー	10/27	42	58
	10/30	29	30
指導者セミナー	10/3	6	8
	10/9	15	18
	10/12	15	16
	10/15	9	10
	10/19	8	8
合計		124	148

(2) 入学前教育プログラムの提供

➤大学入学後の学業充実の準備に向けて、スポーツ推薦入学予定者等を対象とした入学前の教育プログラムを2軸で展開した。

1 入学準備プログラム

➤大学生生活を迎えるに当たっての心構え、学修環境の変化、学業と運動部活動の両立といったテーマのトークショー形式セミナーをオフィシャルサイトにて一般公開した。

2 入学前教育プログラム

➤前年度モデル大学での実施結果を踏まえて、より親しみやすい教材の開発と形式の追加、大学生活全体に対するガイダンスも新規開発して、モデル大学を中心に展開した。

・ 9モデル大学 636 人にプログラムを提供。

・ 3大学 59 人がプログラムを有償使用。

教科	プログラム名
—	1. 運動部学生のための学びのハンドブック
数学	2. 運動部学生のためのスポーツ探究数学入門
日本語	3. 大学生活 学びのための読む書く入門
英語	4. Qubena 中高英語 by 河合塾【オンライン教材】
数学・英語	5. 河合塾 One 基礎コース【オンライン教材】
数学・英語	6. 河合塾 One 標準コース【オンライン教材】
数学・英語	7. 学力判定テスト (プレ・ポスト)【オンライン教材】

-	8. LINE 学習サポート
---	----------------

(3) キャリア形成支援プログラムの提供

▶在学生のキャリア形成をサポートするプログラムをトップパートナー企業である株式会社マイナビと協業にて推進した。

1 デュアルキャリアプログラム

▶My UNIVAS メニューとして、a)オンラインセミナー・b)キャリア適性診断・c)キャリアアドバイザー相談の3メニューで7月より展開を開始した。なお、オンラインセミナーに関しては本年度6テーマをリリース、全12テーマを2年間でリリースする計画である。

a)オンラインセミナー	・受講人数 444人
b)キャリア適性診断	・受検人数 97人
c)キャリアアドバイザー相談	・相談利用人数 277人

2 リーダーズキャンプ

▶運動部キャプテン対象のリーダーシップや組織マネジメントを学修するセミナー。新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、オンライン方式にて開催した。

1/16-17	受講者 8名	トークショーゲスト：原監督(青学大)小宮山監督(早大)
1/23-24	受講者 13名	ゲストトーク：江藤監督(龍谷大)
2/19-20	受講者 29名	ゲストトーク：外池監督(早稲田大)
2/21-22	受講者 6名	ゲストトーク：感動教育家 高光りょうすけ氏
合計	受講者 56名	

3 GMG(Great ManaGer)ミーティング

▶運動部の主務、マネージャーを対象に組織マネジメントを学ぶ研修会。第一フェーズは全国7会場で実開催を行ったが、第二フェーズはコロナ感染状況を鑑みて一部をオンライン開催とした。

[第一フェーズ]

8/1	広島会場	受講者 2名
8/2	岡山会場	受講者 10名
8/3	福岡会場	受講者 7名
8/22	宮城会場	受講者 6名
8/31	東京会場	受講者 39名
9/5	大阪会場	受講者 31名

9/6	愛知会場	受講者 18 名
合計		受講者 113 名

[第二フェーズ]

10/4	オンライン開催	受講者 36 名
12/5	福岡会場	受講者 15 名
12/6	岡山会場	受講者 4 名
12/12	愛知会場	受講者 3 名
12/13	大阪会場 オンライン開催	受講者 14 名
12/19	広島会場	受講者 2 名
12/20	東京会場	受講者 6 名
2/28	オンライン開催	受講者 18 名 (大学管理者・指導者向け)
合計		受講者 98 名

4 就職セミナー

- ▶運動部学生 3 - 4 年生を対象に出遅れがちな就職活動をサポートする運動部学生専用プログラムの展開を開始した。

10/16	運動部学生のための WEB 就職セミナー	参加者 215 名
2/24	スポーツに打ち込む学生必見！ 就職活動まるわかりスクール	参加者 645 名

(4) 学業基準導入の検証

- ▶学業と部活動の両立に向けて、運動部学生の成績到達度に関する基準を策定する課題に取り組み中。具体的には、昨年度検証した学業基準案について短期大学に対して導入実現性の検証を行い UNIVAS 学業基準を策定。また、昨年度のアンケート調査において学業基準を導入している・導入を検討している大学に対し学業基準導入や、学業基準未達成学生へのフォローに関する情報の収集を行った。

2. 安全安心事業

- ▶冒頭に記した新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に加え、初年度末に開示した「UNIVAS 安全安心ガイドライン」や「UNIVAS 相談窓口」の普及活動を推進した。

(1) UNIVAS 相談窓口の設置

- ▶大学の運動部におけるハラスメント問題等に関して、学生のみならず関わる指導者や父兄からの相談を直接承る「UNIVAS 相談窓口」を継続開設。認知拡大に向けてポスター等による告知強化

を行った。

	重大な相談案件	軽微な相談案件	合計	コンプライアンス 委員会取扱件数
相談件数	3	11	14	2

(2) 安全安心対策の助成

➤運動部活動の安全性を向上させる為に、「医療従事者等配置事業」を推進した。本事業は、大会や練習試合等の現場に医療従事者等を立ち合わせることによって、事故発生の際に瞬時的確な対処ができるようにするものである。会員の申請に基づき、その費用を UNIVAS が負担して配置する事業として toto 助成事業に認定されている。新型コロナウイルスの影響もあり、試合大会の開催頻度が低下し、助成金額も当初目論見を下回る結果となった。

	10月	11月	12月	1月	2月	合計
申請受理件数	1件	7件	7件	3件	1件	19件
金額	38千円	1,601千円	2,185千円	1,132千円	127千円	5,083千円

(3) 安全安心ガイドラインの啓蒙活動

➤新たな試みとして「安全安心フォーラム」をオンラインで開催。第一部では UNIVAS 安全安心部会の稲葉・伊東・渡辺各先生による with コロナ時代におけるスポーツ活動の事例と留意事項について、第二部ではゲストに、寺田明日香氏(陸上)、大野均氏(ラグビー)、広瀬統一氏(フィジカルコーチ)を迎えて、ケガや障害の経験やアスリートとしての準備の重要性を語っていただいた。

12/11	20:00-22:30	視聴者数 301
-------	-------------	----------

(4) 事故・怪我事例の研究

➤事故・怪我事例研究の第一弾として「保険データに見る大学スポーツ事故の傾向」を 3/31 発刊。公益財団法人日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)」と公益財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」の保険データから大学スポーツにおける事故の実態について取りまとめたものであり、会員に配布、事故予防に対する意識啓もうを行った。

保険データに見る大学スポーツ事故の傾向	A4 サイズ×42P	13,000 部
---------------------	------------	----------

3. 事業企画関連事業

(1) 競技横断型大学対抗戦の開催

➤大学スポーツとしてのブランディングと露出強化によるファンの開拓を目的として、「UNIVAS CUP 2020-21」と銘打った競技横断型大学対抗戦を開催した。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各指定大会は当初計画からの変更を余儀なくされ、開催時期や場所、大会参加校枠等さまざまな見直しを行い、ほぼ3か月遅れの 9/15 からの開催となった。見直しを検討したものの止む無く大会開催を中止した競技も 12 に上った。

[指定大会の概要]

開催指定大会	・ 21 競技 25 大会（下記一覧表参照）
大会中止とした競技	・ 12 競技（野球・ハンドボール・ソフトテニス・柔道・ゴルフ・なぎなた・空手・ボクシング・テコンドー・フライングディスク・オリエンテーリング（リレー・ミドル部門）・グライダー）

[開催指定大会一覧]

	大会名	開催期間	開催場所	参加大学数	総ポイント数
1	全日本学生アーチェリー王座決定戦	9/15-9/18	服部緑地陸上競技場	男子 29 校 女子 22 校	4,000
2	日本学生選手権水泳競技大会	9/17-10/4	横浜国際プールなど	競泳：男子 26 校 競泳：女子 28 校 水球：男子 14 校 水球：女子 7 校 AS：12 校 飛込：男子 8 校 飛込：女子 12 校	8,000
3	全日本学生カヌースプリント選手権大会	9/18-9/22	石川県小松市木場潟カヌー競技場	男子 15 校 女子 14 校	1,000
4	全日本大学グレコローマン選手権	10/15-16	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館	27 校	1,000
5	日本 U23 トライアスロン選手権	10/17	岐阜県海津市国営木曾三川公園	男子 13 校 女子 9 校	1,000
6	日本学生オリエンテーリング選手権(10月ロング12月スプリント)	10/18 12/6	栃木県矢板市 栃木県那須塩原市	男子 19 校 女子 26 校	2,000
7	全日本大学選手権大会(ボート)	10/22- 10/25	戸田ボートコース	60 校	3,000
8	全日本学生ホッケー選手権大会	10/31- 11/3	駒沢オリンピック公園総合運動場 第一球技場など	男子 11 校 女子 11 校	3,000
9	全日本大学ソフトボール選手権大会（男子）	10/31- 11/1	富山県岩瀬スポーツ公園ソフトボール場	16 校	5,000
10	全日本学生馬術大会	11/1-11/3	山梨県馬術競技場	男女混合 32 校	1,000

11	全日本大学選手権（レスリング）	11/7	大阪・東和薬品 RACTAB ドーム	29 校	上記 4 に含む
12	少林寺拳法全日本学生大会	11/8	武道館	59 校	4,000
13	全日本大学ソフトボール選手権大会（女子）	11/10- 11/12	安城市ソフトボール場	16 校	上記 9 に含む
14	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	11/12	能勢町ライフル射撃場など	男子 7 校 女子 7 校	2,000
15	全日本学生テニス選手権大会	11/17- 11/24	四日市テニスセンター	男子 35 校 女子 44 校	9,000
16	全国大学ラグビーフットボール選手権大会	11/21- 1/11	秩父宮競技場など	14 校	12,000
18	全日本バレーボール大学男女選手権	11/30- 12/6	大田区総合体育館など	男子 35 校 女子 34 校	16,000
19	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（女子）	12/5-12/6	浅生スポーツセンター	14 校	1,000
20	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	12/6	南熱海マリンホール	40 校	2,000
21	全日本学生サーフィン選手権	12/6	鴨川市マルキポイント	29 校	1,000
22	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/7- 12/13	国立代々木競技場第二体育館など	男子 29 校 女子 31 校	14,000
23	全日本大学アメリカンフットボール選手権 アメリカンフットボール東西大学王座決定戦	12/13	甲子園など	14 校	11,000
24	全日本大学スキー大会	2/24-3/9	北海道阿寒町など	男子 3 校 女子 17 校	2,000
25	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（男子）	3/6-3/7	埼玉県立総合スポーツセンター	男子 26 校	上記 19 に含む

（２）試合動画の配信

➤大学スポーツの注目度を向上させ、ファン開拓の促進を目的として、UNIVAS CUP 指定大会を中心に試合の動画を、UNIVAS オフィシャルサイトで無料配信した。同時に、パートナーの広告掲載によりパートナー企業にも露出価値を提供した。

本年はスポーツイベント再開支援事業の補助も受け、無観客開催となった指定大会の広報強化としてライブ配信の拡大、配信対象大会の拡大に向けて、まず競技人口が最も多い野球において東京六大学野球、東都大学野球の配信も開始した。

[配信結果]

- ・配信試合数：1,528 試合（前年比 303%）＜ハイライト配信 1,528 試合(内ライブ 1,005 試合)＞
- ・動画再生回数：1,001,861 回（前年比 480%）

[競技大会別配信実績]

	大会名	開催期間	配信試合数		視聴回数	
			ライブ	ハイライト	ライブ	ハイライト
1	全日本学生アーチェリー王座決定戦	9/15-9/18	7	125	4,232	4,409
2	日本学生選手権水泳競技大会	9/17-10/4	水球 21 AS27	水球 21 AS27	水球 28,950 AS1,987	水球 9,933 AS3,156
3	全日本学生カヌースプリント選手権大会	9/18-9/22	61	61	10,892	7,967
4	東京六大学野球	9/19 - 11/8	-	45	-	1923
5	東都大学野球	9/22-11/4	59	59	257,338 (スポーツ ブル 合算)	3,580
6	全日本大学グレコローマン選手権	10/15-16	205	205	2,515	1,817
7	日本 U23 トライアスロン選手権	10/17	-	2	-	391
8	日本学生オリエンテーリング選手権(ロング)	10/18	-	2	-	682
9	全日本大学選手権大会(ボート)	10/22-10/25	154	154	23,623	6,352
10	全日本学生ホッケー選手権大会	10/31-11/3	16	16	20,572	6,768
11	全日本大学ソフトボール選手権大会(男子)	10/31-11/1	15	15	13,938	7,889
12	全日本学生馬術大会	11/1-11/3	3	3	2,176	2909

13	全日本大学選手権 (レスリング)	11/7	164	164	29,514	3,329
14	少林寺拳法全日本学生大会	11/8	-	15	-	3,353
15	全日本大学ソフトボール選手権大会 (女子)	11/10-11/12	15	15	47,316	13,488
16	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	11/12	-	11	-	659
17	全日本学生テニス選手権大会	11/17-11/24	117	312	111,724	26,484
18	全国大学ラグビーフットボール選手権大会	11/21-1/11	-	-	-	-
19	全日本バレーボール大学男女選手権	11/30-12/6	35	60	121,825	93,599
20	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 (女子)	12/5-12/6	10	10	5,622	3,329
21	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	12/6	96	96	1,420	1,286
22	全日本学生サーフィン選手権	12/6	-	35	-	706
23	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/7-12/13	-	68	-	938
24	アメリカンフットボール東西大学王座決定戦	12/13	-	7	-	957
25	全日本学生スキー大会	2/24-3/9	-	-	3月ライブ	3月公開

(3) 年間表彰の実施

➤UNIVAS の理念の浸透と実現に向けて、学生スポーツにおける学生アスリート・大学・競技団体等各関係者のあるべき姿・目指すべき姿を広く周知するために、理念に叶った活動を行った個人と組織団体の表彰を行う UNIVAS AWARDS 2020-21 を開催した。

応募団体数 39 (35 大学・4 競技団体) ・応募総数 106 件

3/29 オンライン表彰式を開催。

[UNIVAS AWARDS 2020-21 コース別応募数表彰数]

#	表彰名	表彰数			応募数
		最優秀賞	優秀賞	入賞	
1	パーソン・オブ・ザ・イヤー	1	6	12	19
2	ウーマン・オブ・ザ・イヤー	2	4	6	12
3	パラアスリート・オブ・ザ・イヤー	2	2	-	4
4	サポーターイングスタッフ・オブ・ザ・イヤー	1	5	12	18
5	スポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー	-	2	3	5
6	ルーキー・オブ・ザ・イヤー	1	5	6	12
7	アルムナイ・オブ・ザ・イヤー	-	-	1	1
8	コーチ・オブ・ザ・イヤー	1	5	7	13
9	学修機会確保に関する優秀取組賞	1	1	-	2
10	成績管理・対策に関する優秀取組賞	1	1	-	2
11	安全確保に関する優秀取組賞	1	3	3	7
12	大会・プロモーションに関する優秀取組賞	1	3	-	4
13	スポーツ統括部局/SA 賞	1	5	1	7
	合 計	13	42	51	106

4. 会員サポートプラットフォームの提供事業

(1) My UNIVAS・Our UNIVAS の提供開始

➤運動部学生を登録してデータベースとし、運動部・大学や競技団体が学生を管理できるようにするプラットフォームを開発、学生や運動部、大学や競技団体の登録を開始した。

	内容
My UNIVAS	<ul style="list-style-type: none"> ・会員組織に所属する運動部学生のプロフィールを登録してデータベースを形成。登録した学生には様々なオンラインサービスを提供。 ・2020/7/27 リリース・登録 2,443 人
Our UNIVAS	<ul style="list-style-type: none"> ・組織登録を基に、運動部学生を管理できるプラットフォームとして、運動部・大学・競技団体に利用を開放。 ・2020/7/27 リリース・大学管理者登録 146 大学

▶My UNIVAS 登録学生には以下のオンラインサービスを提供している。

デュアルキャリアプログラム	・オンラインセミナー、適性診断テスト、キャリア相談が可能
特別講座	・一流アスリートの体験談アーカイブの視聴が可能
フォトギャラリー	・UNIVAS CUP 指定大会の公式フォートのダウンロードが可能
学内研修会の手引き	・管理者向けに手引きを公開

5. クローズアップ UNIVAS 活動の推進事業

▶UNIVAS の認知拡大と定着に向けて以下の活動を推進した。

(1) オフィシャルサイトのリニューアル

▶従来はコーポレート情報と動画配信主体のサイト構成であったが、8/12 に事業全体が俯瞰できるような構成に刷新した。

月平均アクセス数：改変前 21,684 →改変後 80,033

月平均 PV 数： 改変前 57,738 view→改変後 279,183 view

(2) SNS プロモーションの拡大

▶Instagram オフィシャルアカウントの開設に加え、Twitter のコンテンツ更新を専門会社に委託し、タイムリーな情報発信を大学生へ展開し、フォロワーの拡大を図った。

	フォロワー数	月平均発信数	備考
Twitter	5,583	41	フォロワー数前年比 323%
Instagram	2,810	12	2020 年 9 月よりスタート 30%以上が大学生ユーザー

IV 事業を支える施策

1. 新たなパートナー開拓の推進

▶新型コロナウイルス感染拡大により経済活動、社会活動が麻痺状態であったこともあり、新たなパートナー企業の開拓には至っていない。既存パートナー企業 4 社に対しては、企画会議を週次定例開催するなど密な連携を図った。

2. 会員のガバナンス発揮を支援する活動

▶大学や競技団体に対するコンプライアンス知見の共有と意識の醸成、ガバナンスの発揮に向けて以下の活動に取り組んだ。

(1) 不祥事対応事例集の作成

▶不祥事の防止に向けたガバナンス発揮を目指し、競技団体のガバナンス体制や不祥事への対応事例等を結集し、意識の改革と改善に向けた手引きとして冊子化。第一弾は競技団体編とし、第二弾は大学編に取り組む。

UNIVAS 大学スポーツ処分事例集(競技団体編)	A4 サイズ・82 ページ
---------------------------	---------------

(2) コンプライアンス研修会の開催

▶大学・競技団体管理者を対象に、不祥事への対処・アディクション・SNS の注意事項をテーマにした研修会を開催、知見の共有と意識の徹底を図る。

第一回	3/5	オンライン開催
第二回	3/6	オンライン開催

3. 学生の意見を反映する仕組みづくり

(1) UNIVAS 学生部の設立

▶学生部編成着手の第一弾として「学生アナウンサー」の組織化を行った。プロによるアナウンス研修会を開催し、その受講者を UNIVAS CUP や東都大学野球ライブ配信における実況アナウンサーに登用した。アナウンス活動の様子は、体験記としてオフィシャルサイト UNIVAS NOTE に掲出して周知拡大を図った。

[学生アナウンサー実況試合]

UNIVAS CUP	7 競技 137 試合	・レスリング・ボート・ホッケー・テニス ・バレーボール・ウエイトリフティング ・スポーツチャンバラ
東都大学野球	18 試合	・秋季リーグ戦全試合

(2) ありもり会議の開催

▶当初予定からスケジュール変更、及び開催方式をオンラインに変更して開催。第一回は、女性アスリートを対象に有森副会長とゲスト 2 名が女性アスリートの悩みに関する意見交換を行った。

日時	会場	参加者	登壇者
12/3(木)	オンライン	30 名	・UNIVAS 副会長有森裕子氏 ・ゲスト(鯉川なつえ氏・室伏由佳氏)

4. 会員とのコミュニケーションの深耕

(1) 学長懇談会

▶新型コロナウイルス感染拡大と大学における業務執行状況を鑑みて、本年度中の開催は断念した。

(2) 情報共有会

▶UNIVAS 窓口担当者を対象に、UNIVAS 提供プログラムの周知徹底を図った。

開催日	参加者	議題
4/7(火)、9(木)	62 名	・「体温・体調把握&アラートシステム」の無料提供 ・動画配信共有サービス ・団体運営支援ツールについて
7/6(月)、8(水)	99 名	・デュアルキャリア形成支援サービス

		「デュアルキャリアプログラム」の開始について ・GMG ミーティングの開催について ・第4回大学におけるコロナウイルス感染症対策の現状について
7/21(火)、 22(水)	59名	・『My UNIVAS』利用ガイドのご説明 ・『My UNIVAS』クイックマニュアルについてのご説明

(3) UNIVAS 通信

▶UNIVAS が会員に提供するプログラムや委員会活動報告等を掲載するメールマガジンを、会員窓口担当者及び希望者に対して月一回配信した。

UNIVAS 通信購読者数	491名
---------------	------